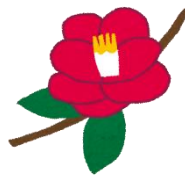


のがわ



令和7年1月
拠点校 調和小学校
巡回校 若葉小学校
国領小学校
校内通級教室
(のがわ教室)

寒い日が続きますが、皆様には健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃から、のがわ教室の指導に対するご理解とご協力をいただきありがとうございます。

3学期は1年間のまとめの時期です。在籍校や保護者の皆様と連携を図りながら子どもたちの成長を振り返り、次の学年、学校でのスタートを気持ちよく切れるように指導を進めていきます。

3学期もどうぞよろしくお願いいたします。

☆今後の予定とお知らせ☆

指導開始日	1月14日(火)
指導終了日	3月18日(火)
調和小振替休業日(指導なし)	2月10日(月)
個人面談期間	2月3日(月)～2月28日(金)

※保護者の方や在籍学級担任の先生とご相談の上、指導開始日と終了日は変更になる場合があります。

また、巡回指導教員の研修や会議、拠点校(調和小)及び在籍校の行事等により、上記以外に指導がない日があります。その場合は、のがわファイル等でお知らせいたしますので、ご確認ください。



【のがわファイルについて】

ファイルが厚くなり、持ち運びにくくなっているお子さんが見受けられます。1・2学期のプリントはファイルから外していただき、ご家庭で保管いただいても構いません。今一度、お子様のファイルをご確認いただければと思います。

【保護者面談について】

2月3日(月)から保護者面談を実施いたします。通級及びご家庭での様子について情報共有させていただきたいと思えます。日程については、担当からご連絡いたします。

【第2回のがわ教室保護者講演会を開催しました】

1月9日(木)に昭和大学大学院保健医療学研究科准教授の副島賢和先生そえじまさかずをお招きして、講演会を実施しました。約35名の保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。保護者の方からは、以下のようなご感想をいただきました。

- ・感情は心の願いなのだとことを念頭に子供と接していきたいと思えます。
- ・いつもの子供への声掛けは大丈夫か、見直さないといけないと思えました。

なお、講演の内容は本紙裏面をご覧ください。



講演会 自尊感情の高め方～院内学級の子もたちが教えてくれた大切なこと～

講師 昭和大学大学院保健医療学研究科准教授 昭和大学附属病院内学級担当 副島 賢和先生 先生

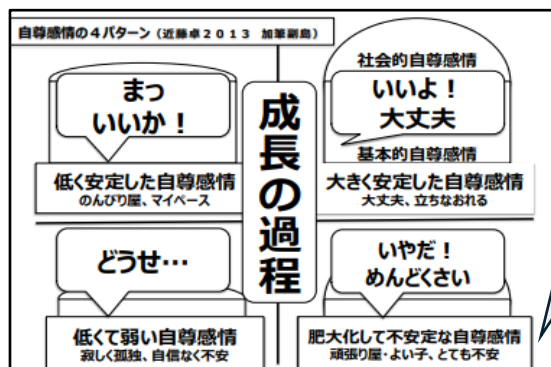
子どもの中にどのような感情があり、その感情をどのように扱っていけばよいかについて、お話をいただきました。

(1) 子どもとの関わり

- ・自己選択・自己決定の力が育つことで、自尊感情を育むことができる。
- ・自尊感情には、基本的自尊感情と社会的自尊感情の2種類があり、この組み合わせによって成り立っている。
- ・社会的自尊感情のベースにあるのは、基本的自尊感情である。

★子どものことを「大切な存在」として「あなたはあなたのままでよい」と伝えてあげることが「すごい自分」につながる。

○自尊感情の4つのパターンから今の状態を見極める。



「できる」「分かる」と必死で勝負している子（図の右下）

- ・頑張り屋でよい子だが不安を抱えていることが多い。
- ・できないことが怖いから、逃げることに必死になって、「嫌だ!」「めんどくさい」が肥大化して不安定な自尊感情になっているため、特に気を付ける。
- ・エネルギーがない子は、「今が幸せ」と思わないと自分と向き合うことが難しい。

★「今のあなたはダメな存在」と思わせる声掛けになっていないか。子どものためだと思っている関わりは、子どもの力を奪う関わりになっていないかを見直す。その子が今感じている感情を大切に扱う。

(2) 感情の役割

★感情は、「生きていくために」「人と関わるために」願いを伝える役割

○感情を壊す3つの関わり

- ①不快な感情に蓋をして押さえ込む
- ②先回りしてよい子の面だけ認める
- ③不快な感情と向き合わずに無視をする

子どもは、自分の感情を訴えても仕方ないと思う。自分の不安や恐れ、怒りなどの感情を表出することに抵抗を感じ、むしろそのような感情を「ないもの」として過ごそうとする。

★「感情の不適切な扱い」は様々な不適応行動につながっていく。

- ・周りを困らせる行動だけれども、自分が「困っている…」ことを一生懸命に伝えている行動である。

(3) 感情ってどうやって育てるの？

★今を大切に。

- ・その瞬間の感情を味わう。身体感覚を大切にする。
- ・今、感じている感情や感覚と一緒に味わってくれたり、言葉にしてくれたりする人がいることで、子どもたちは選択や挑戦に進める。

★子どもが感じている感情に言葉を付ける。

- ・こころの声を聴く。言葉にならない声を大事にする。
- ・相手の感情を表情や行動から読み取り、言葉で表現することを手伝う。

(4) どんな感情も大切に…。

- ・感情に良い悪いはない。どんな感情も大切にしてい。

★受容はするが、許容はしない。感情を受け止めるけれど、ダメな行動を容認しない。

子どもが自分をダメだと思っているときにどんな声を掛けるか。どうやってそばにいますか。受容を先にします。

★「今日という日はだれにとってもはじめての日なのだから…」

- ・うまくいかないことも失敗することもある。子どもはそう簡単に助けてとは言わない。だからこそ全力で支えてよい。
- ・誰かを助けることは大変なこと。

★ご自分の今を大切に。仲間を作って、その時間と空間を大事にしていましょ。